

第3期中期目標期間における
教育研究の状況に係る評価結果について
（4年目終了時評価）

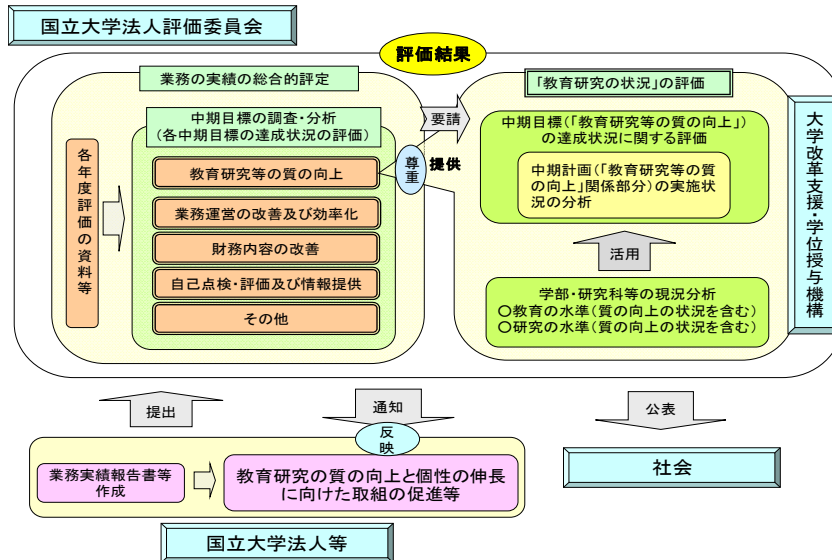
—説明内容—

1. 教育研究の状況に係る評価の概要
2. 現況分析結果の判定状況について
3. 中期目標の達成状況に関する評価結果の判定状況について



国立大学法人評価の全体像

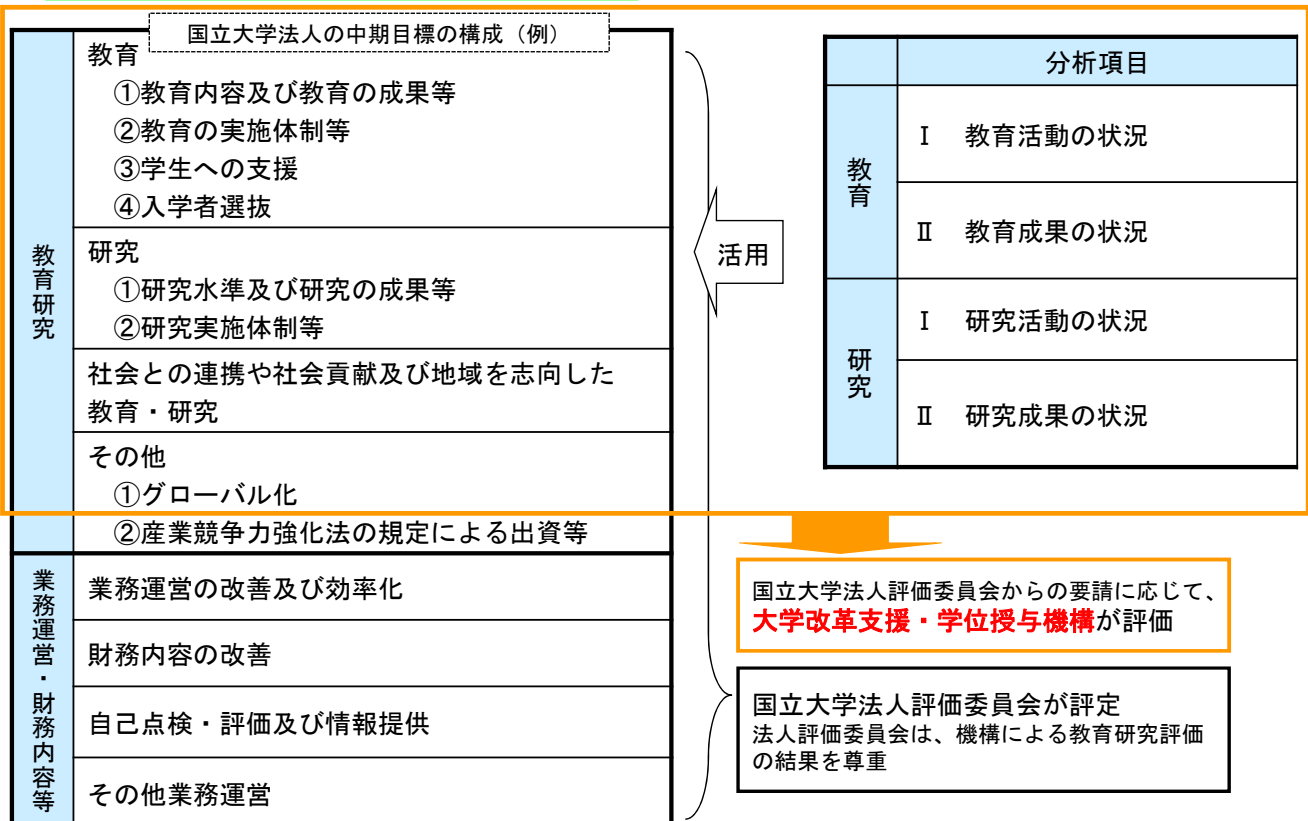
- 国立大学法人及び大学共同利用機関法人については、文部科学省に設置される「国立大学法人評価委員会」が毎事業年度（年度評価）及び中期目標期間ごと（6年ごと）に評価（4年目終了時評価、中期目標期間終了時評価）を実施。
- 中期目標期間評価のうち教育研究の状況の評価については、専門的な観点からきめ細かく評価を行うため、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に評価の実施を要請し、その評価結果を尊重する仕組み。



4年目終了時評価（2020年度）のスキーム

中期目標の達成状況に関する評価

学部・研究科等の現況分析





現況分析の概要①(判定方法)

“判定方法”におけるポイント

- 各学部・研究科等の目的に照らして、**取組や活動、成果の状況がどの程度の質にあるか**を判断。その際、第2期中期目標期間終了時点と評価時点での**質の向上の状況も含めて**判断。

※国立大学法人評価委員会による実施要領に基づき、第2期中期目標期間評価のように「水準」と「質の向上度」を別々に判定することはしない。

《現況分析の判定方法》

		水準
教育	①教育活動の状況	4段階で判定 ・特筆すべき高い質にある ・高い質にある ・相応の質にある ・質の向上が求められる
	②教育成果の状況	
研究	①研究活動の状況	
	②研究成果の状況	

視点 ↑

各学部・研究科等の目的に照らして、**取組や活動、成果がどの程度の質にあるか**

第2期中期目標期間終了時点と評価時点での**質の向上の状況**も含めて判断

【参考】
 第2期の現況分析においては、左記の教育及び研究の分析項目ごとに

- ・「水準」を4段階で判定
- ・「質の向上度」を4区分で判定

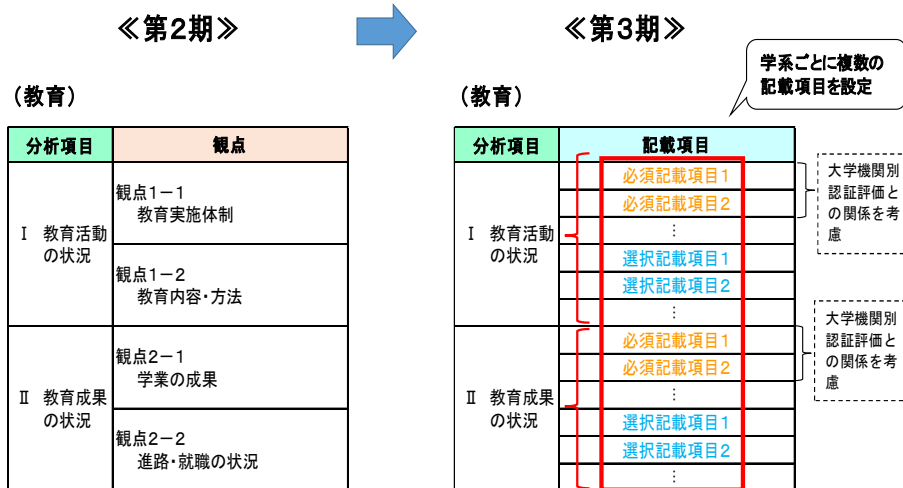


現況分析の概要②(記載項目)

記載項目の設定

- 各法人が作成する、学部・研究科等ごとの「現況調査表」については、その記載内容に一定の標準化を図るため、記載項目を設定。

※教育の必須記載項目については、機構が実施している大学機関別認証評価の記載内容との共通化を図り、各法人の評価作業に係る負担を軽減。



【第3期中期目標期間 教育研究評価 分析項目の構成イメージ(教育の場合)】



達成状況評価の概要①（中期目標の構成）

中期目標の構成及び達成状況評価

- 中期目標を3階層（大項目、中項目、小項目）に区分し、小項目重視の評価で段階判定の結果を積み上げて、最終的に大項目の評価結果を導く。

《法人の中期目標・中期計画の構成イメージ》

中期目標	中期計画
(前文) 大学の基本的な目標	
◆ 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織 1 中期目標の期間 2 教育研究上の基本組織	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標（大項目） （1）教育内容及び教育の成果等に関する目標（中項目） ○世界の第一線で活躍できる人材を育成する（小項目） ○高度専門職業人を育成する（小項目） （2）教育の実施体制等に関する目標（中項目） （3）学生への支援に関する目標（中項目） （4）入学者選抜に関する目標（中項目）	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 （1）教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 ○達成するための具体的な措置A ○達成するための具体的な措置B ○達成するための具体的な措置C （2）教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 （3）学生への支援に関する目標を達成するための措置 （4）入学者選抜に関する目標を達成するための措置

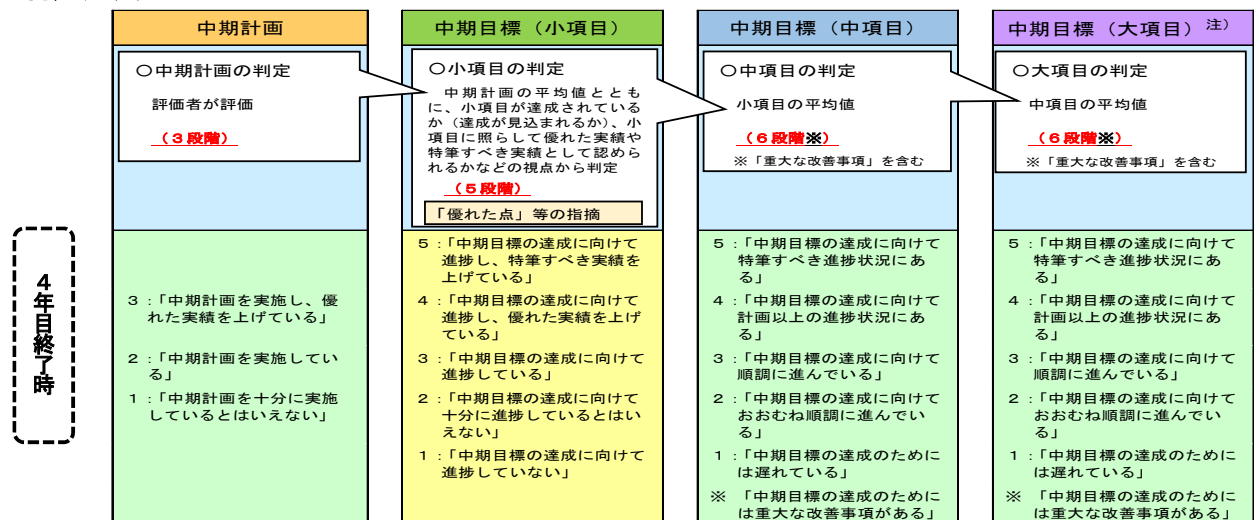


達成状況評価の概要②（判定の流れ）

“評価方法”におけるポイント

- 中期計画を3段階判定、小項目を5段階判定とし、法人ごとに具体的な中期目標が設定されている小項目による評価をより重視した仕組みとする。

《判定方法のイメージ》



注) 基準となる達成状況を4年目終了時は「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」に置く



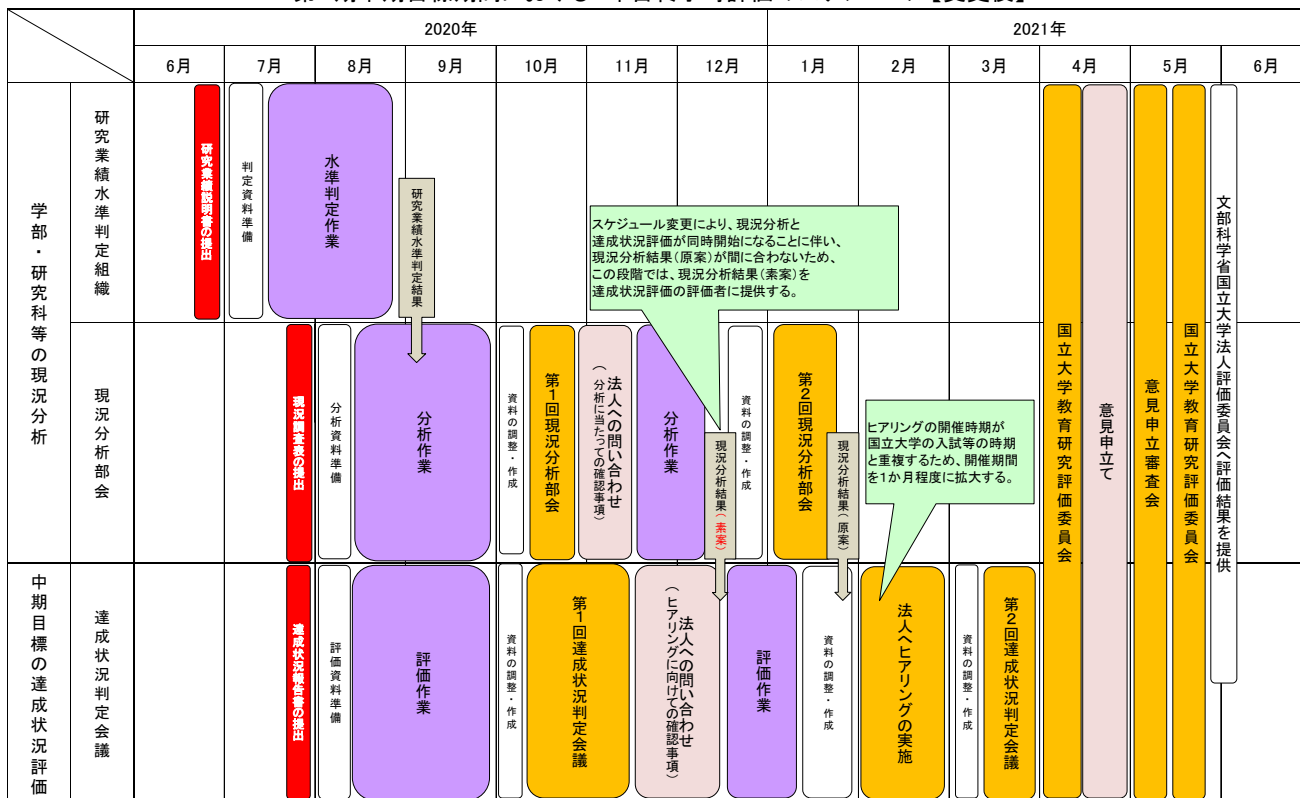
4年目終了時評価の実施体制

会議	役割	構成	評価対象数	備考
国立大学教育研究評価委員会	文部科学省国立大学法人評価委員会からの要請に基づく国立大学等の教育研究評価を実施する。	14名	-	
国立大学教育研究評価委員会WG	中期目標期間の教育研究の状況の評価方法の検討を行い、その結果を委員会の審議に供する。	6名	-	
達成状況判定会議	国立大学等の教育研究に係る中期目標の達成状況を判定する。	164名 8グループ・23チーム	90法人	グループ間の調整のために運営小委員会を設置
現況分析部会	学部・研究科等の現況（教育及び研究）を分析する。	239名 11学系	1,456組織	部会間の調整のために運営小委員会を設置
研究業績水準判定組織	学部・研究科等における代表的な研究業績の水準を判定する。	613名	12,081業績	
意見申立審査会	国立大学等からの意見申立てへの対応を審査する。	8名	-	



4年目終了時評価のスケジュール【変更後】

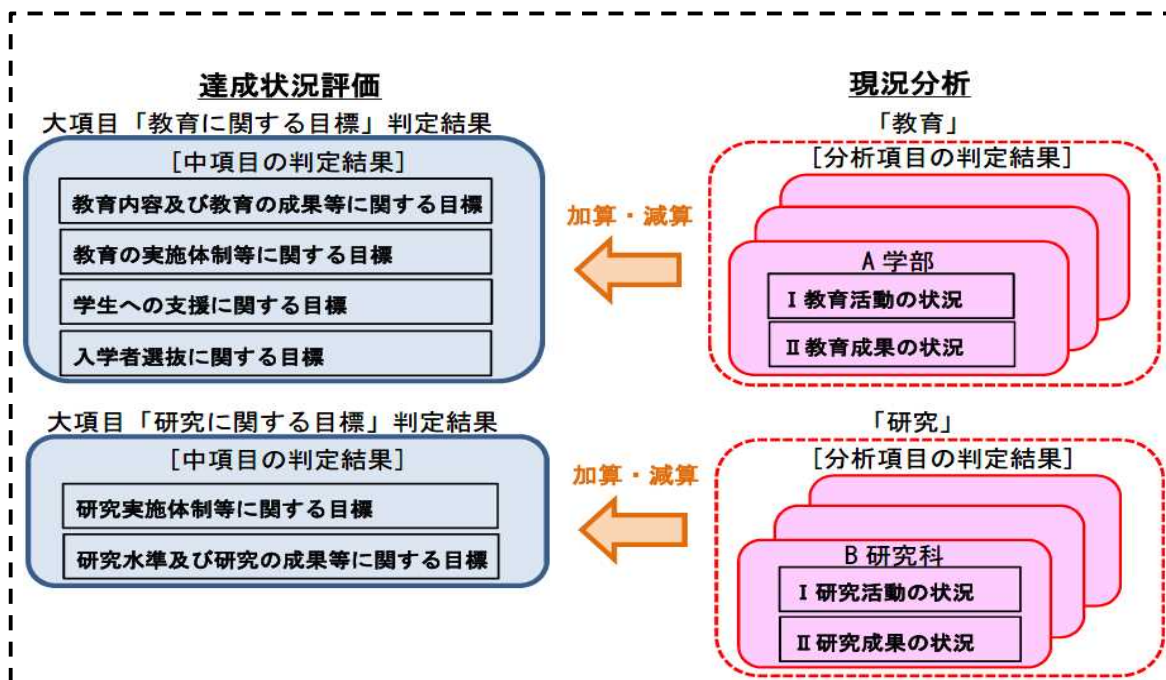
第3期中期目標期間における4年目終了時評価のスケジュール【変更後】





達成状況評価における現況分析による加算・減算

- 文部科学省国立大学法人評価委員会からの当機構への要請において、中期目標に関する達成状況の評価に当たっては、学部・研究科等の現況分析結果を十分に活用することが求められていることを踏まえ、現況分析結果(教育及び研究)の段階判定を達成状況評価における段階判定に活用する。



具体的な加算・減算の内容

【教育】

達成状況評価

当該法人における
大項目「教育に関する目標」
の中項目の平均値

+

現況分析：「教育」

当該法人における
(I 教育活動の状況)、
(II 教育成果の状況)
の全判定結果の平均値 $- 2^{※1}$

×

係数 $0.5^{※2}$

【研究】

達成状況評価

当該法人における
大項目「研究に関する目標」
の中項目の平均値

+

現況分析：「研究」

当該法人における
(I 研究活動の状況)、
(II 研究成果の状況)
の全判定結果の平均値 $- 2^{※1}$

×

係数 $0.5^{※2}$

※1 現況分析は4段階判定となっており、【2】判定(相応の質にある)が基準となる判定のため、現況分析の教育または研究の全判定結果の平均値が2を上回る場合は加算、下回る場合は減算となる。

※2 現況分析結果の加算・減算に当たっては、達成状況の評価結果であることを考慮し、係数「0.5」を設定する。

<具体的なイメージ>

法人名	教育(加算・減算前)		教育(加算・減算後)			
	各中項目の平均値(a)	大項目判定	現況分析の平均値-2(b)	bの値に係数を乗ずる(c)	a+cの値	大項目判定
A大学	3.25	順調	0.500	0.250	3.50	計画以上
B大学	2.75	おおむね順調	-0.250	-0.125	2.63	おおむね順調

学部・研究科等の現況分析結果に係る判定状況一覧（全体）

【教育】 865 組織

	教育活動の状況		教育成果の状況	
	項目判定		項目判定	
特筆すべき高い質にある	63	7.3%	33	3.8%
高い質にある	223	25.8%	93	10.8%
相応の質にある	574	66.4%	739	85.4%
質の向上が求められる	5	0.6%	0	0.0%

【研究】 591 組織

	研究活動の状況		研究成果の状況	
	項目判定		項目判定	
特筆すべき高い質にある	66	11.2%	57	9.6%
高い質にある	208	35.2%	181	30.6%
相応の質にある	317	53.6%	353	59.7%
質の向上が求められる	0	0.0%	0	0.0%

【合計】 1456 組織

中期目標の達成状況に関する評価結果 判定状況一覧表

国立大学法人(86法人)

大項目	特筆すべき進捗	計画以上の進捗	順調	おおむね順調	遅れている	中項目	特筆すべき進捗	計画以上の進捗	順調	おおむね順調	遅れている
教育	2 (2.4%)	17 (20.0%)	56 (65.9%)	10 (11.8%)	0 (0.0%)	①教育内容及び教育の成果等 ②教育の実施体制等 ③学生への支援 ④入学者選抜 ⑤その他	1 (1.1%)	22 (25.3%)	51 (58.6%)	13 (14.9%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	14 (16.5%)	67 (78.8%)	4 (4.7%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	19 (22.4%)	63 (74.1%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	6 (7.1%)	78 (91.8%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	0	1	0	0
研究	15 (17.6%)	31 (36.5%)	33 (38.8%)	6 (7.1%)	0 (0.0%)	①研究水準及び研究の成果等 ②研究実施体制等 ③その他	3 (3.5%)	49 (57.6%)	30 (35.3%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	22 (26.2%)	59 (70.2%)	3 (3.6%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	1	0	0	0
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	0	0	0	0
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	0	0	0	0
社会連携等・地域志向	0 (0.0%)	30 (35.7%)	47 (56.0%)	7 (8.3%)	0 (0.0%)	①グローバル化 ②その他	0	2	5	0	0
	2 (2.3%)	20 (23.0%)	63 (72.4%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)		1 (1.1%)	18 (20.7%)	67 (77.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)						1 (1.1%)	3	12	1	0
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	1	6	0	0
	0 (0.0%)						0 (0.0%)	14.3%	85.7%	0	0

※1 大項目「社会連携等」については、中項目に相当する中期目標はなし。

※2 大項目「教育研究等の質の向上」については、中項目[1]～[7]をまとめて記載している(1法人)。

※3 大項目・中項目は、国立大学法人により構成が異なるため、それぞれの合計は必ずしも一致しない。

大学共同利用機関法人(4法人)

大項目	特筆すべき進捗	計画以上の進捗	順調	おおむね順調	遅れている	中項目	特筆すべき進捗	計画以上の進捗	順調	おおむね順調	遅れている
研究	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	①研究水準及び研究の成果等 ②研究実施体制等	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		①共同利用・共同研究の内容・水準 ②共同利用・共同研究の実施体制等	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	①大学院等への教育協力 ②人材育成	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		①大学院等への教育協力 ②人材育成	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)
社会連携等	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	①グローバル化 ②大学共同利用機関法人間の連携	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		①グローバル化 ②大学共同利用機関法人間の連携	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)

※ 大項目「社会連携等」については、中項目に相当する中期目標はなし。